

# NER工法(New Easy Renewal)

取扱地域 北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

NETIS登録番号No.KK-200020-A



NER工法は円型水路の老朽化して破損した片持ち部分を切断・除去し、水路部分をチューブ型枠で確保したのち切除部分にプレキャストブロックを据えて隙間にジェットモルタルを充填し新しい水路を完成させる工法で、作業手順は以下の通りです。

## 1 片持ち部の切断・除去

円型水路片持ち部の切断には、広く一般的に使用されているコンクリートカッターを使用し、片持ち部を長手方向に切断する縦切断と、切断した片持ち部を小割する横切断があります。



横切断

横切断は円型水路上部の長手方向の配筋を切断し、切断された片持ち部の小割を行うために実施します。



縦切断

切断位置を正確に墨だし後、コンクリートカッターにて3段階で切断を行います。

## 2 チューブ型枠・NERブロック設置

チューブ型枠を円型水路に敷きます。吊り金具の調整ボルトにより正しい位置にNERブロックを設置します。



チューブ型枠の設置



NERブロック設置

## 3 チューブ型枠膨張

空気圧は0.015MPaを守ります。圧力が高くなるとチューブ型枠が破損します。



## 4 グラウト充填

グラウトはデンカハイプレタスコン type-H を使用し、下記の配合に従い練り混ぜ、NERブロックと円型水路の隙間に充填します。



1袋(25kg)当りの標準配合	製品	目標軟度 J <sub>v</sub> 漏斗流下値 (秒)	W/(C+T) (%)	質量(kg)		練上り モルタル量 (%)
				材料	水	
	ハイプレタスコン TYPE-H	8±2	34.4	25	4.3	約13.3

## 5 仮設資材の撤去・完成

グラウト練り混ぜ後30分程度でチューブ型枠、NERブロック吊り下げ金具を撤去します。

下水道

橋脚・  
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・  
環境

貯留・  
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・  
新素材

参考資料